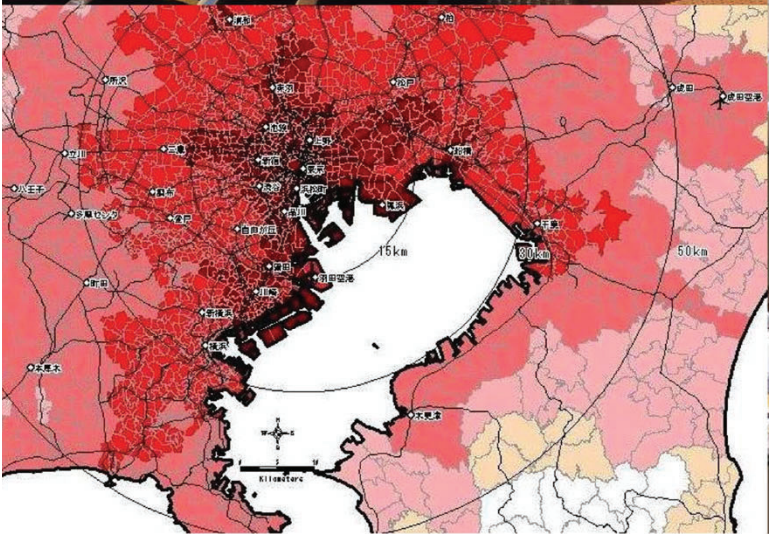


[広 報]



鉄道ホームドクター



鉄道・運輸機構

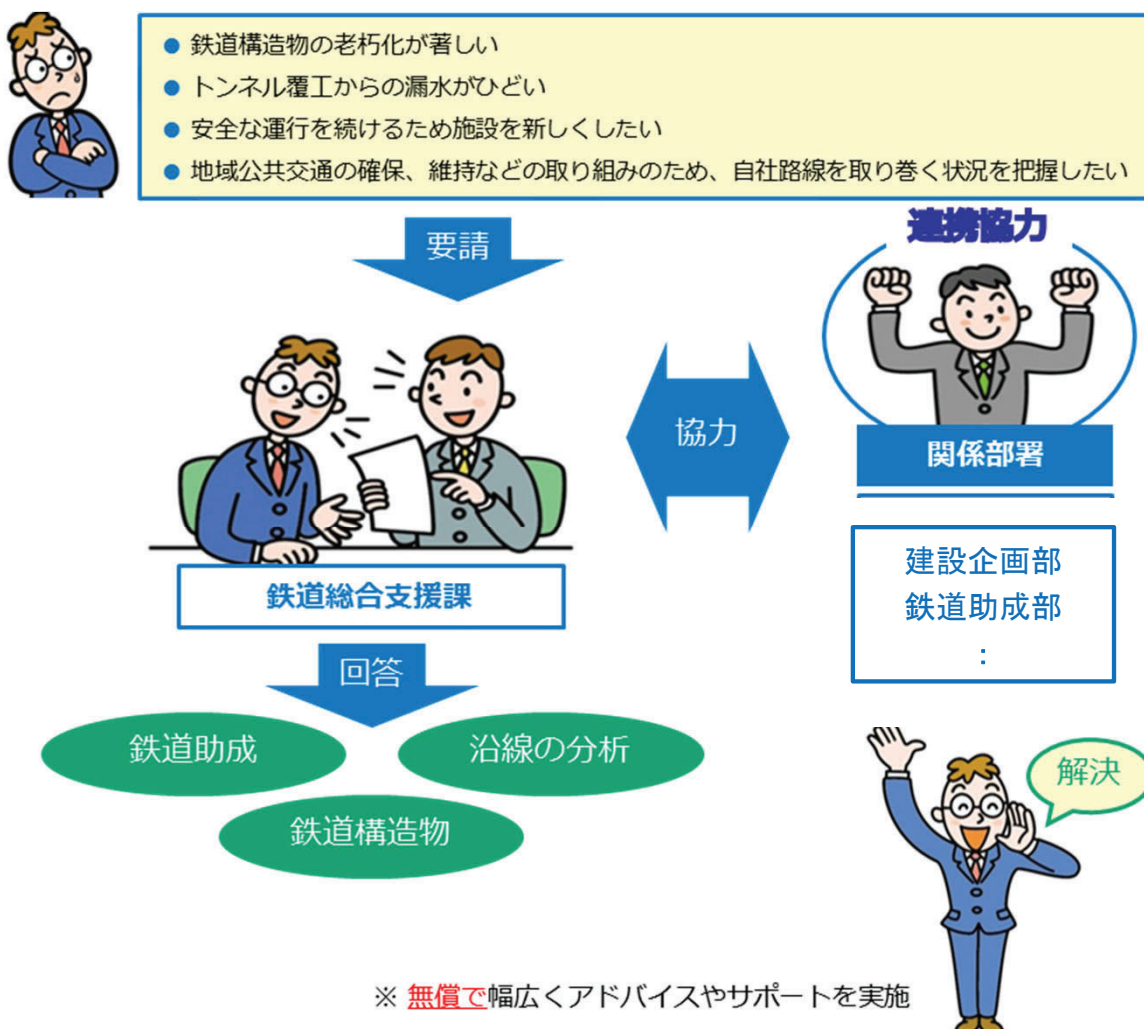
JRTT

鉄道ホームドクターによる支援

- ・鉄道・運輸機構がこれまでの鉄道建設の経験により培った技術的なノウハウを活かして、鉄道事業者や地域鉄道を支える地方公共団体の皆様が日々の鉄道の運行を通じて抱えるさまざまな問題や疑問について相談を受け、**無償で**アドバイスやサポートを行っています。

鉄道ホームドクターの流れ

- ・「鉄道施設の老朽化が激しい」「安全な運行を続けるため施設を新しくしたいので補助メニューを知りたい」等の様々な要請に対し鉄道の建設、調査等の知見を持つ関係部署や、地域鉄道に係る助成制度の補助メニュー等の情報を持つ鉄道助成部と協力しながら、鉄道企画調査部鉄道総合支援課が窓口となり、技術支援や情報提供を実施しています。
- ・「このようなことは誰に聞けばよいか」「とりあえず相談したいが相談費用を抑えたい」といった状況のときに、気軽に相談しご利用いただける『町のお医者さん』的な役割を念頭に活動しています。

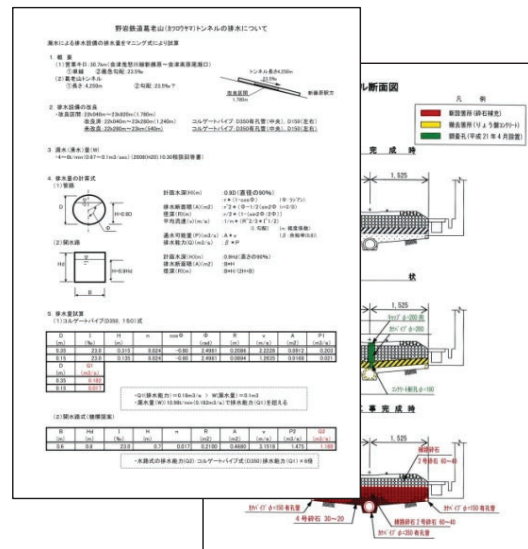


※ **無償で**幅広くアドバイスやサポートを実施

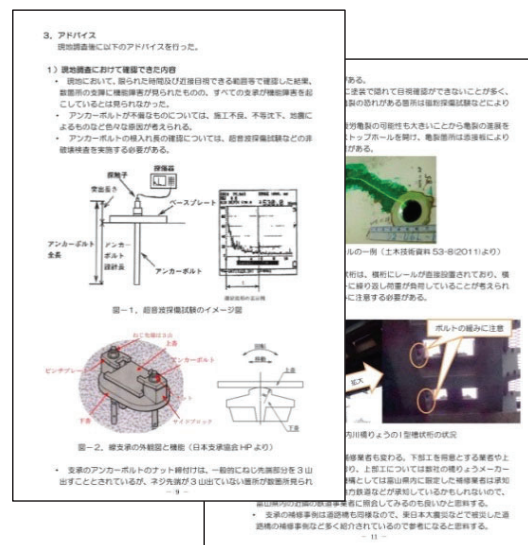
鉄道施設に関する技術支援

- ・鉄道・運輸機構の総合的な技術力を活用し、鉄道施設の補修や維持管理などに関する様々な相談に対してアドバイスを行っています。

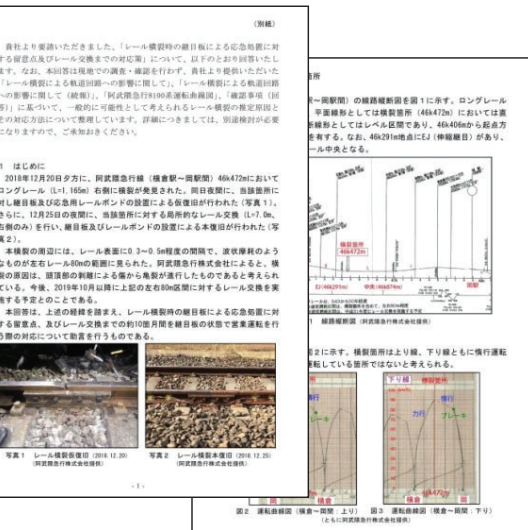
〔事例1〕覆工の漏水対策についての工法の紹介



〔事例2〕鋼製桁やRC高架橋の補修方法の紹介

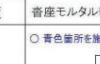


〔事例3〕レール横裂への対処方法の紹介



鉄道構造物の長寿命化対策

- ・地域鉄道における構造物の経過年数をみると、全体の約4割のトンネルが耐用年数60年を、約8割の橋りょうが耐用年数40年を超えていると言われています。このような状況から、例えば、R C構造物の断面修復、橋りょう支承部の修復、防食対策等の長寿命化対策工法を紹介しています。

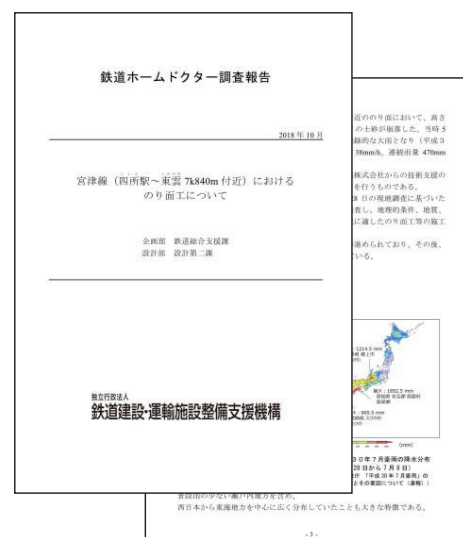
防食対策		■ 支承部の修復		■ RC構造物の断面修復	
対策	従来工法	対策	従来工法	対策	従来工法
概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。	概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。	概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。	概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。	概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。	概要図  ※1: A系（JSと止り止め塗料）→防食性（※2） ※2: A系（フル樹脂系塗料）上塗料→対腐食性を素地調整（2倍ケレン等）し、下塗りした後、フル樹脂系塗料を1（計2塗り） 工法概要 施工性が比較的良好、かつインシナルコスト 長所 経年劣化が早い。

災害復旧に係る技術支援

- ・近年、国内では地震・津波等の災害が発生しています。また暴風雨や集中豪雨による河川の氾濫などの風水害および土砂災害が多発しています。このような状況に対応すべく、鉄道ホームドクターでは復旧対策の技術支援を行っています。実績として、豪雨によるのり面の崩落災害復旧に際し現地調査を実施し、現地の状況に即した地盤調査やのり面工の施工方法及び留意点について助言しています。



現地調査及び事業者様との打合せ状況



調査報告書



独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

www.jrttp.go.jp

まずはお気軽に下記問合せ先にご連絡ください。

問 合 せ 先		TEL	FAX
総 合 窓 口	鉄道企画調査部 鉄道総合支援課	045-222-9059	045-222-9094
(補 助 金 関 係)	鉄 道 助 成 部 助 成 課	045-222-9134	045-222-9149
北 海 道	北海道新幹線建設局 計画部計画課	011-231-3458	011-218-2406
東 北 地 方 ・ 関 東 地 方 (新潟・長野・静岡県を含む)	鉄道技術センター 調査部調査課 幹 線 鉄 道 グ ル ー プ	03-5403-8739	03-5403-8771
東海・北陸・近畿・中国・四国地方	北陸新幹線建設局 計画部計画課	06-6394-6031	06-6394-6038
九 州 地 方	九州新幹線建設局 計画部計画課	092-283-9609	092-283-9592

M A I L : shien-53je@jrttp.go.jp

↑ まずはお気軽にメールでご一報ください！！

地域鉄道活性化への取組み事例及び地域公共交通支援事業の紹介

国土交通省がＨＰの中で提供している地域鉄道活性化等に関する取り組み事例及び地域公共交通の支援事業に関する情報を紹介します。

１．総合政策局

- 「地域公共交通の活性化・再生への事例集」

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/htm/all.html>

- 「地域公共交通確保維持改善事業について」

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html

２．鉄道局

- 地域鉄道対策

「地域鉄道活性化に向けた取組み事例紹介」

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk5_000002.html